第25回展は2年ぶりに国立新美術館で開催

会期、出品作家を発表します！

DOMANI・明日展 2022-23 文化庁新進芸術家海外研修制度の作家たち

「百年まえから、百年あとへ（仮題）」

"DOMANI: The Art of Tomorrow" Exhibition 2022-23
Contemporary Japanese Artists from the Overseas Study Program of the Agency for Cultural Affairs

2022年11月19日(土)〜2023年 1 月29日(日)　国立新美術館 企画展示室2E

石塚元太良 《Shoup Glacier #001》 2016/2022(部分)｜写真

展覧会趣旨

文化庁は、将来の日本の芸術界を支える人材の育成のため、若手芸術家が海外の関係機関等で行う研修を支援する「新進芸術家海外研修制度(在研)」を1967年度から実施しており、すでに半世紀を経過しました。美術分野では、そうした成果発表の機会として1998年から「DOMANI・明日展」を開始し、2022年度で第25回目を迎えます。2008年の第11回展以降は、前年に東京・六本木にオープンした国立新美術館を会場に、天井高に恵まれた空間での大規模なグループ展とし、「海外研修」のアフター・プログラムとして、海外に送り出した人材を日本のアートシーンにプレゼンする機会としてきました。

2021年度の第24回はコロナ禍の影響で東京での一括開催はかないませんでしたが、在研関連のネットワークを生かして地方5会場に展開し、あわせて第1回から第23回展に関するアーカイブ集『DOMANI・明日 記録集：The Art of Tomorrow 1998-2021』を刊行しました。
2022年秋、２年ぶりの国立新美術館での開催となる本展は第25回の周年事業として、これまでに同館での「DOMANI・明日展」で本格的に取り上げることができていない、キャリアの豊かな作家3名と、比較的近年に在研を終えた清新な作家6名、さらに「DOMANI・明日展」史上、初の同館２度目の参加となる近藤聡乃を招いた展示となります。1923年に首都圏を見舞った「関東大震災」から百年目の年に東京で開かれる企画として、**「ゆれる/ゆらぐ地面、制度、価値観」**という視点から、コロナ禍後の次代の人材育成、美術界のあり方をも考えます。

国際的な移動や発表を前提に活動してきた作家たちが、長期にわたる閉塞状態のアートシーンに遭遇したなかで思考を重ねた展覧会をご期待ください。

参考：文化庁新進芸術家海外研修制度
https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/

出品作家

※各作家の説明として、生年・表現領域、【 】は文化庁新進芸術家海外研修歴を記載しています。
過去に「DOMANI・明日展」に参加歴のある作家は、展覧会名 / 開催年度 / 開催会場を記載しています。

伊藤 誠　ITO Makoto
1955年生 彫刻【1996年度(1年研修)・アイルランド】
第4回DOMANI・明日展 / 2000年度 / 安田火災東郷青児美術館

丸山 直文　MARUYAMA Naofumi
1964年生 絵画【1996年度(1年研修)・ドイツ(ベルリン)】
第6回DOMANI・明日展 / 2002年度 / 損保ジャパン東郷青児美術館
第10回DOMANI・明日展 / 2006年度 / 損保ジャパン東郷青児美術館
第14回DOMANI・明日展(特別出品) / 2011年度 / 国立新美術館

小金沢 健人　KOGANEZAWA Takehito
1974年生 インスタレーション【2001年度(3年研修)・ドイツ(ベルリン)】
DOMANI・明日展 plus / 2016年度 / 京都芸術センター
DOMANI・明日展 plus online 2020 / 2020年度 / 特設ウェブサイト

近藤 聡乃　KONDOH Akino
1980年生 現代美術【2008年度(1年研修)・アメリカ(ニューヨーク)】
第13回DOMANI・明日展 / 2010年度 / 国立新美術館
現在、ニューヨーク在住

大﨑 のぶゆき　OSAKI Nobuyuki
1975年生 現代美術【2020年度(1年研修)・ドイツ(シュトゥットガルト)】

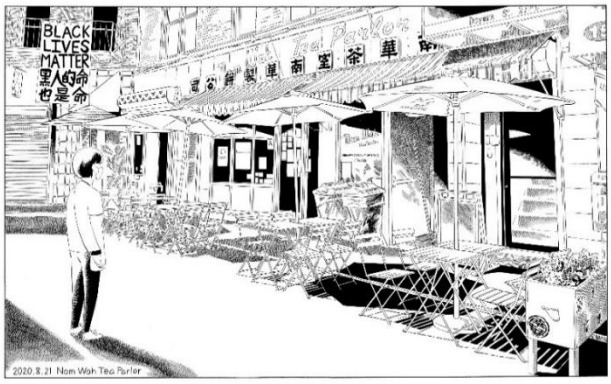
北川 太郎　KITAGAWA Taro
1976年生 彫刻【2007年度(3年研修)・ペルー(リマ)】

石塚 元太良　ISHIZUKA Gentaro
1977年生 写真【2010年度(1年研修)・アメリカ(ニューヨーク)、
2021年度(特別研修)・フィンランド(ケミヤルビ―)】

池崎 拓也　IKEZAKI Takuya
1981年生 現代美術【2017年度(1年研修)・アメリカ(ニューヨーク)】
現在、ニューヨーク在住

黒田 大スケ　KURODA Daisuke
1982年生 彫刻【2018年度(1年研修)・アメリカ(テキサス、フォートワース)】
「どこかで？ゲンビ」and DOMANI@広島 / 2021年度 / 広島城 二の丸

谷中 佑輔　TANINAKA Yuske
1988年生 彫刻・パフォーマンス【2019年度(3年研修)・ドイツ(ベルリン)】
現在、ベルリン在住



近藤聡乃『ニューヨークで考え中』③ 亜紀書房
プロローグより
2020
漫画原稿用紙にインク
36.5 x 48.4 cm
©KONDOH Akino, Courtesy of the artist and Mizuma Art Gallery

展覧会概要

会期：　2022年11月19日(土)～2023年1月29日(日)　49日間開催

休館日：　毎週火曜日、年末年始 2022年12月27日(火)～2023年1月11日(水)

開館時間：　午前10時～午後6時　※入場は閉館の30分前まで

会場：　国立新美術館　企画展示室2E

主催：　文化庁、国立新美術館

協賛・協力(予定)：　公益財団法人 福武財団
東京スタデオ、日本美術家連盟、損害保険ジャパン
シュウゴアーツ、ミヅマアートギャラリー、ユカ・ツルノ・ギャラリー
KOTARO NUKAGA、Satoko Oe Contemporary

キュレーション：　林 洋子(文化庁芸術文化調査官)

企画協力：　沢山 遼（美術評論、2021年度(1年研修)・アメリカ(ニューヨーク)）

カタログ編集：　内田 伸一

ｱｰﾄ･ﾃﾞｨﾚｸｼｮﾝ：　榊原 健祐（Iroha Design）

制作：　アート・ベンチャー・オフィス ショウ

展覧会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：　https://domani-ten.com

※最新情報はホームページをご覧ください。

関連イベント等については、7月末に配信するプレスリリース第二弾で発表します。
ご期待ください！

国立新美術館
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
https://www.nact.jp

アクセス
・東京メトロ千代田線
　乃木坂駅青山霊園方面改札6出口(美術館直結)
・東京メトロ日比谷線
　六本木駅4a出口から徒歩約5分
・都営地下鉄大江戸線
　六本木駅7出口から徒歩約4分
＊美術館に駐車場はございません

文化庁 文化庁委託事業「令和4年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

掲載についてのお問合せ
「DOMANI・明日展」広報事務局（アート・ベンチャー・オフィス ショウ内）担当 佐藤・市川
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-8-301
TEL：03-3485-7866 FAX：03-3485-7851 e-mail：avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp